

令和6年度 第2回鳴門市スポーツ推進審議会（書面会議）議事録

【概 要】

第2回鳴門市スポーツ推進審議会について、台風10号の影響により、会場での審議を中止とし、書面会議としたことから、各委員へは「第2期鳴門市スポーツ推進計画（骨子案）」「第2期市民アンケート報告」の会議資料を送付し、骨子案について意見を集約するため「意見書」の提出を依頼した。

また、本来であれば、会議終了後、鳴門市附属機関設置条例第9条（会議録の作成及び公開）により、「会議の公開又は非公開にかかわらず、会議終了後速やかに会議録を作成するものとする。2 公開で行われた会議にかかる会議録は、これを公開するものとする。」としていることから、上記理由により、各委員から提出のあった「意見書」の内容を集約し、公開するものとする。

【協議事項】

議事1 第2期市民アンケート報告について

議事2 第2期鳴門市スポーツ推進計画の骨子案について

【書面会議出席者】

①委員14名

中田委員／片岡委員／佐伯委員／豊崎委員／矢川委員／
松井委員／大黒委員／矢野委員／立石委員／神田委員／
山本委員／西上委員／堀江委員／佐藤委員

②オブザーバー1名

笹川スポーツ財団 鈴木氏

【意見書提出期限】

令和6年9月4日（水）～13日（金）

各委員からの意見について以下のとおり

～議事2 第2期鳴門市スポーツ推進計画の骨子案について～

【骨子案について各委員からの意見】

(松井会長)

意見：「基本理念」について、従来の（案1）を継承することに賛成。鳴門市のシンボルでもある「うず」が含まれており、本市ならではの特徴を主張できる。

前期計画で不十分であった点を踏まえて、後期の目標を検討していきたい。官民連携のスポーツコミッションの役割も大きく期待できるが、行政内のスポーツ関連部署であるスポーツ課、教育委員会、健康推進課、観光振興課、等を網羅した調整・マネジメント機構を創設し、各課等の縦割りを解消し、連携してスポーツ推進事業を展開していくことも一案。

その他意見：意見なし。

(中田副会長)

意見：案1の「うずまくまち なんと」の表現は、ひらがな続きすぎて視覚的にもどうかと思う。「渦まく」にした方が、より鳴門の渦潮の「渦」とイメージしやすいのでは。

案1の「スポーツうずまく・・・」を「スポーツ文化・・・」にしているかどうか。板東のスポーツ交流の歴史をアピールできるかも。

以上から、「スポーツ文化渦まくまち なんと」にしているかどうか。

その他意見：意見なし。

(A委員)

意見：スポーツをする人、観る人、支える人（育てる）人。
連携、協働の推進。

人、それぞれが楽しくスポーツを選べる、参加する環境の整備。

その他意見：スポーツを通じて（学ぶ）喜びや感謝、苦しみを体得して、心豊かな人間が多く輩出できる社会（環境）。

(B委員)

意見：「基本理念」については、（案1）「スポーツを通して交流が生まれる」とあり、市民だけでなく、市外、県外、海外などでさまざまな地域の方と交流し、スポーツを楽しむことができればと思う。

（案2）「健康でいきいきといつまでも楽しくスポーツを行う」とあり、スポーツを通して、人生を豊かにすることができると思うので、子ども

からお年寄りまで幅広い世代の人々がスポーツを楽しむ機会を作ってほしい。

その他意見：子どもたちの体力が低下傾向にあることや、運動習慣の二極化が進んでいること、成人のスポーツ実施割合が全国平均を下回っていることなどが気にかかる。手軽な運動や律動的な運動を行い、体を動かす楽しさや心地よさを味わうことによって、自分の体の状態に気づき、体の調子を整えたりすることができるようになると思う。そうした取り組みを学校現場、スポーツ団体等で連携し、行っていくことが課題解決の1歩になるのではないかな。

(C委員)

意見：意見なし。

その他意見：意見なし。

(D委員)

意見：鳴門市の熱心な取り組みにより、積極的に身体を動かしている人はたくさんいる。鳴門・大塚スポーツパークには、朝・夕におけるスポーツパーク内でのジョギングやウォーキング、アミノバリュー内で実施されている多くのスポーツ教室にもたくさんの方が参加されている。パーセンテージ的には少ないですが、鳴門市の活動や思いは充分浸透しています。

その他意見：意見なし。

(E委員)

意見：意見なし。

その他意見：意見なし。

(F委員)

意見：基本理念（案2）「スポーツでいきいき輝くまち になると」
高齢者が多くなる中、健康でいつまでも楽しくスポーツが行われ、人とのつながりも保たれて生活が出来ることが高齢者にとって輝ける人生であると思います。
具体的施策（案）
表彰については、鳴門市在住でなくとも鳴門のチームに所属していれば表彰が可能であっても良いと思います。成果が発揮された証で嬉しいものです。

その他意見：意見なし。

(G委員)

意見：骨子案については、記載された内容で良いと思います。

具体的には、色々な方法があると思いますが、子どもの時期からスポーツの楽しさを教えるのが大事。そのためには、ボランティアなどの指導者が必要。

スポーツに親しむ機会の創出を行うのが重要で各地域でクラブを作り、活動の輪を広げるのが原点です。それから青少年へのステップアップを行うのが良いと思います。

基本理念「いきいき輝くまち なる」と案2はすごく良いです。

子どもから大人まで沢山の方たちが集まり、スポーツに触れ、楽しみながら健康と体力増進、精神的な充実感、地域の一体感創出に繋がります。高齢者スポーツとしてニュースポーツ（グランドゴルフ、囲碁ボール、カーリンコン、ボッチャ、ラダーゲッター、カローリングなど）がありますが、これら私たちは上記目的でボランティア活動をしており、これから、三世代交流大会などを開催し、スポーツの活性化を図りたいと考えています。そのための施設（練習・大会が出来ること、空調・障がい者対応・トイレ対応）を望んでいます。

その他意見：意見なし。

(H委員)

意見：意見なし。

その他意見：その他の、意見としては、こういった構想ももちろん大切ですが、それを具現化するための具体策と行動が必要だと、いつも活動の中で痛感しています。呼吸するようにスポーツできる「鳴門市」を目指したいです（以前にも会議で言ったかもしれません）。

たとえば、そういうスポーツが空気のようないい環境をつくるために1つ1つ 具体的にできることをあげていき、改善していくべきだと思います。例えば、

- ・撫養川水際公園のプロムナードの照明の不点灯（安全に市民がナイトウォーク、ナイトランが楽しめるように）。
- ・スポーツ施設以外を新設する場合は、軽運動ができる広さや鏡を据え付けておくなど、有効利用できるようにしておく。
- ・市内に QR コードなどを活用して、ランニングポイントラリーやウォーキングポイントラリー、および民間事務店舗や周辺飲食店、入浴施設など

の情報 UP。

- ・スポーツトレーナーや、鍼灸・整体院など、メディカルメンテナンスサービスの情報提供。
- ・総合型地域スポーツクラブの各クラスの参加、入会呼びかけ（特定検診で要注意になった方への参加推奨など）。
- ・仕事帰りのランニングなど（例えば、黄昏ラン）スポーツをライフスタイルに取り入れてもらうため、SNS を活用し、市民参加の多角的な情報醸成能力を育てていく。

1つ1つ、あげていき、コンセプトや骨子などをつくと同時に具体策をあげて取り組んでいくことだと思います。

（I 委員）

意 見 : 基本理念1案と2案を合わせた考え方が良いのではないのでしょうか
例えば、

（考え方）街中にスポーツがあふれ世代に関係なく楽しくスポーツを行うことで活気あふれる街づくりを目指します。

基本目標に「育てる」「楽しむ」「あふれる」「にぎわう」良いと思います。

その他意見：意見なし。

（J 委員）

意 見 : 意見なし。

その他意見：意見なし。

（K 委員）

意 見 : 意見なし。

その他意見：意見なし。

（L 委員）

意 見 : 意見なし。

その他意見：意見なし。

（スポーツ財団）

意 見 : 基本理念については、全体の骨組みが後期計画と大きく変化がない点からも、案1ですでに多くの市民の方、スポーツ関係者に浸透しているのであれば変更しないという考え方もあるかと存じます。

一方で案2のほうが計画を実行した先にある鳴門市のイメージしやいかと

思いますので、わかりやすさと取るのであれば案2がよいかと思いました。骨子案については、第1期の後期計画から大きく変化はなく、鳴門市としては継続的に課題解決に取り組む意向かと拝察いたします。そのなかでも、基本目標の文言が後期計画よりも具体的な内容になっているかと思いますので、基本目標に基づく具体的な施策についても前回踏襲というよりかは、基本目標を実現するためにより具体的に記載するか、特に重点的に取り組む施設を設けるなどメリハリをつけてもよいかと感じました。

例えば、基本目標1のスポーツで子どもたちを育てる「なると」については、スポーツで育てると示しておりますので、具体的に子どものこういった面が育ってほしいのか、非認知能力なのか身体的な機能や体力の向上なのか、内容によって力を入れる施策は異なるかと思います。子どもたちにどう育てほしいかイメージをしたうえで具体的な施策をご検討いただくのはいいかでしょうか。

その他意見：意見なし。